東京退女教学習会のお知らせ

記録映画「標的」を鑑賞し共に考える

～植村バッシングと闘った記者や市民の連帯の記録～

西嶋真司監督（JCJ）賞受賞

講師　植村（うえむら）　隆（たかし）さん　（元朝日新聞記者、週刊金曜日社長）

期日　2022 年 2 月 26 日(土)(受付 13:00)13:30～16:00

会場　日本教育会館　7 階　701 号室　（地図は裏面）

都営新宿線・三田線、メトロ半蔵門線　神保町駅下車 4 分、JR 水道橋駅下 15 分

＊参加費無料　＊緊急事態宣言発令の時は申し込み制となります。

映画『標的』について

『標的』は、2001 年に「朝日新聞」の記者だった植村隆さんが書いた元「従軍慰安婦」の記事に対して「捏造」などとする誹謗中傷がなされ、家族も脅迫されるなど大きな被害を受けた事実をもとに、バッシングに怯まなかった記者と日本のジャーナリズムを守ろうと立ち上がった弁護士や市民を描いている。植村氏は中傷した人物らを名誉棄損で訴え、敗訴したものの、中傷した側が「捏造」とも言える事実の改変をしていたことを裁判で明らかにした。「不都合な報道に対して圧力をかけようとする国家権力に堂々と立ち向かった人々の勇気が評価され（JCJ）賞の受賞に繋がったものだと思う。」

（西嶋氏）

映画「標的」のポスターから

＊JCJ 賞は,日本ジャーナリスト会議が新聞、放送、出版などにおける優れたジャーナリズムの活動を顕彰する賞。

東京退女教では平和への取り組みを続けています。平和を願い、戦争について考えるとき、戦争の被害と加害、両面から検証しなければならないという強い思いで取り組んできました。退女教役員で事前に「標的」を鑑賞しました。安倍政権以降政府による圧力が強まっています。まずは映画を通して事実を正しく知ること。植村さんに起きたこと、今の日本の状況について共に考えたいと思います。

主催　東京都退職女性教職員の会（退女教）

後援　東京都退職者協議会（都退協）　　退女教連絡先　☎03-5276-1311